

## 2 平成30年分(速報)

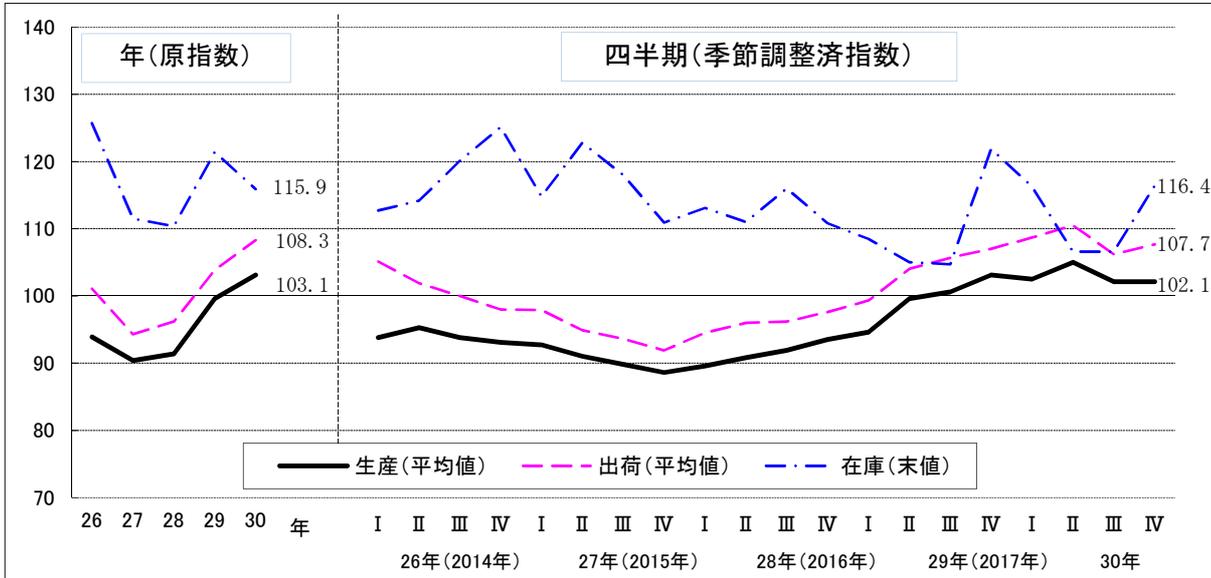
### (1) 季節調整済指数の動向(平成30年・四半期ごと)

季節調整済指数の四半期ごとの動きをみると、

- 生産は、第Ⅱ四半期に上昇したのち、第Ⅲ四半期に低下し、第Ⅳ四半期は横ばいで推移しました。
- 出荷は、第Ⅱ四半期に上昇したのち、第Ⅲ四半期に低下したものの、第Ⅳ四半期に再び上昇をしました。
- 在庫は、第Ⅰ、第Ⅱ四半期に大きく低下し、第Ⅲ四半期は横ばいで推移したが、第Ⅳ四半期に大きく上昇しました。

鉱工業指数の推移(年・四半期)

平成22年(2010年)=100



### (2) 原指数の動向(平成30年・年間平均)

原指数の年間平均は、前年比で、生産は3.5%増と3年連続の上昇、出荷は4.2%増と3年連続の上昇、在庫は4.5%減と2年ぶりの低下となりました。

年次別鉱工業指数(原指数)

平成22年(2010年)=100

年次	生産		出荷		在庫	
	年平均	前年比(%)	年平均	前年比(%)	年末値	前年比(%)
25	90.6		96.8		108.5	
26	93.9	3.6	101.1	4.4	125.7	15.9
27	90.4	△ 3.7	94.3	△ 6.7	111.5	△ 11.3
28	91.4	1.1	96.2	2.0	110.4	△ 1.0
29	99.6	9.0	103.9	8.0	121.4	10.0
30	103.1	3.5	108.3	4.2	115.9	△ 4.5

(注)平成30年の数値は速報値であり、今後年間補正等により修正されることがあります。

### (3) 生産・出荷・在庫の動向

#### 生産指数(原指数)は、103.1で前年比3.5%増と3年連続の上昇

はん用・生産用・業務用機械工業6.1%、情報通信機械工業31.7%、電気機械工業5.8%など 12業種が上昇し、  
輸送機械工業△5.5%、その他工業△2.4%、木材・木製品工業△17.8%など 5業種が低下しました。

#### 出荷指数(原指数)は、108.3で前年比4.2%増と3年連続の上昇

はん用・生産用・業務用機械工業8.9%、電気機械工業10.8%、情報通信機械工業13.2%など 12業種が上昇し、  
輸送機械工業△8.7%、電子部品・デバイス工業△3.3%、木材・木製品工業△16.6%など 5業種が低下しました。

#### 在庫指数(原指数・年末値)は、115.9で前年末比4.5%減と2年ぶりの低下

その他工業17.7%、情報通信機械工業8.1%、鉄鋼業23.2%など8業種が上昇し、  
はん用・生産用・業務用機械工業△43.6%、電子部品・デバイス工業△23.0%、化学工業△14.6%な

#### 生産指数

項目	業種数	主な業種	前年比(%)	主な品目
上昇	12	はん用・生産用・業務用機械工業	6.1	電子計算機及び関連装置 回転電気機械
		情報通信機械工業	31.7	
		電気機械工業	5.8	
低下	5	輸送機械工業	△ 5.5	自動車部品 製材
		その他工業	△ 2.4	
		木材・木製品工業	△ 17.8	

#### 出荷指数

項目	業種数	主な業種	前年比(%)	主な品目
上昇	12	はん用・生産用・業務用機械工業	8.9	回転電気機械
		電気機械工業	10.8	
		情報通信機械工業	13.2	
低下	5	輸送機械工業	△ 8.7	自動車部品 半導体素子 製材
		電子部品・デバイス工業	△ 3.3	
		木材・木製品工業	△ 16.6	

#### 在庫指数

項目	業種数	主な業種	前年末比(%)	主な品目
上昇	8	その他工業	17.7	その他の製品工業 鋳鍛造品
		情報通信機械工業	8.1	
		鉄鋼業	23.2	
低下	8	はん用・生産用・業務用機械工業	△ 43.6	医薬品
		電子部品・デバイス工業	△ 23.0	
		化学工業	△ 14.6	

※「主な業種・品目」については、寄与度(全体に与える影響)の大きいものを掲載してあります。

※「主な品目」については、対象事業所数が少数の場合は掲載していません。

※前月比が横ばいの業種は業種数に含まれません。

※「はん用・生産用・業務用機械工業」に係る、「主な品目」の( )内は次の区分によります。

(は):はん用機械 (生):生産用機械 (業):業務用機械